

臨床研究・調査の概要

研究課題名	高齢者の大腿骨近位部骨折の後ろ向き研究
研究の概要	<p>【研究の目的・意義】 大腿骨近位部骨折は加齢に伴い発症率が増加することが知られている。本邦でも高齢者人口の増加に伴い、大腿骨近位部骨折が増加し、手術が増加していくと予想される。しかし、高齢者は基礎疾患が複数あることが多く、周術期の管理に難渋し手術が遅れることがある。当院における大腿骨近位部骨折の患者要素や麻酔記録から周術期に重要な因子を分析することにより、今後の麻酔対応を円滑に行うことを目的とする。</p> <p>【研究対象者】 当院で 2010 年以降に大腿骨近位部骨折の手術を受けた 65 才以上の患者</p> <p>【研究の方法】※研究期間を含めて記載 電子カルテまたは麻酔台帳から麻酔方法等の麻酔科管理に関わるデータを抽出し、手術待機時間や入院期間に関連する因子を分析する。研究期間は 2020 年 2 月から 2020 年 3 月末を予定する。</p>
研究資料の入手・閲覧	<p>研究資料については、研究対象者または当院が認める親族等の方からのご要望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で提供いたします。</p> <p>研究資料の入手・閲覧を希望される方は、次へご連絡ください 富山市民病院 診療科：麻酔科 役職：医師 氏名：榎本 洸 TEL 076-422-1112（代表） FAX 076-422-1371 e-mail jimukyoku@tch.toyama.toyama.jp</p>
個人情報の開示に係る 手続	富山市個人情報保護条例に規定する手続きに従い、適切に対応いたします。
相談等への対応	研究対象者からの除外を希望される場合、その他当該研究に関する相談等については、関係資料の入手・閲覧と同じ連絡先にご連絡ください。